

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター		公表日 令和7年3月		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	掲示物などを最小限にして、児童の気がちらないような工夫がされている。 1 スポーツをすると狭く感じるが使用する道具を工夫したりすることで改善できている。	活動内容によっては狭く感じることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	基準の職員数は配置している。	曜日によってはあわたたしさをを感じる事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	構造化された環境を作れている。 スロープもあるので車いすでも室内に入りやすく整備されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	活動後の掃除・消毒を行っている。児童に合わせた空間となっている。 空間を間仕切りして遊ぶ場・活動の場と分けられる。	教材の置き場など利用日によって置き場の工夫検討を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	物を置いていない。	クールダウンできる場所として利用できる部屋がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	ミーティングで話会う機会を作り確認できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		取り掛かれる課題に対しては、今後も早急に改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員面談やミーティング、ひごろの職員同士の会話の中にあるおもいを大切にしている。	ミーティングの進め方や意見の出しやすい雰囲気を作る。出た意見を大切に改善につながるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		法人全体での第三者委員会を設置している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	勤務調整等を行いできるだけ参加するようにしている。	ZOOMなどの会議は比較的に参加しやすいが、出張になると勤務調整が必要となるため参加しにくい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		現在作成中であり公表に至っていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	ミーティングで検討し客観的な視点をもって作成している。 日ごろのこどもの様子を観察し保護者からのニーズ・課題もしっかり反映されるよう心がけている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	仮説を立て意見を出し合い共通理解をして支援ができるように検討している。 全職員間で、日々変わった様子があれば報告、相談を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	アセスメントツールを参考に発達段階に応じた作成している。	アセスメントツールの見直しを検討している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	保護者にわかりやすいような言葉で伝えられるように工夫している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	ミーティングで検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	放課後デイサービス担当職員が毎週の計画を利用者・季節に応じたプログラムを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	0	個別活動と集団活動を適宜組み合わせで検討し放課後等デイサービス計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	朝・夕のミーティングや支援後に気になることがあった時には随時共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	朝・夕のミーティングや支援後に気になることがあった時には共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	記録として残し、ミーティングで検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを行い、計画書の適切な見直しを行えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	0	自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供を組み合わせた活動の提供ができています。	・一人ひとりの発達の状態に応じたプログラムも考えられている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	0	自分の気持ちを主体的に言えるような支援や選択方法の提示の仕方ができています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児発管・児童指導員・保育士が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	現在、医療的ケアの必要な児童に受け入れはない。	子ども部会での情報交換は行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	月初めに各学校のスケジュールをもらい、情報共有ができています。必要な時は連絡をして確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	必要にあわせ担当者会議を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	必要な情報提供は行えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0	必要な場合は助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	地域のこどもとの交流はない。	地域の中での活動をプログラムに取り入れる必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	気になることがあった時には当日にご家族へ連絡をして共通理解を行っている。連絡帳や送迎時などを利用してこどもの状態をお互いに伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	保護者にチラシの配布・電話連絡を行いお知らせをしている。託児も行い参加しやすい環境を整えている。ペアプロの参加がある。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	契約時に説明を行っている。	支援プログラムは作成中。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	保護者のおもいや 本人の思いを聞き取りながら意向を確認している。担当相談支援員とも連携し情報の共有を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	必要に応じお話を伺い迅速な対応を心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		今年度は定期的な保護者会の開催が出来なかったため保護者同士の情報交換ができるように計画的に行う。 家族と直接の意見交換の場が少ない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	苦情があった場合には職員と共有し迅速な対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	定期的な「び〜と便り」をお渡しできている。	今後SNSを利用し公開できる範囲での発信を検討している（プライバシーの配慮を検討中）
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	見通しを持てるように絵カードや個に合わせたスケジュールボードを使用。 利用児の意思表示の仕方を職員が理解し、できるだけ伝えたい事をくみ取り、代弁していく。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	0	事業所のお祭りなどは開催していないが、地域の行事の際には事業所の駐車場を使ってもらうなど協力をさせてもらっている。	今後、地域のお祭りなどには参加していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	各マニュアル等の説明は保護者にできていないので今後、契約や計画書の説明の際に一緒に行う。研修・訓練は行えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0	BCP研修・訓練を行えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等の情報を聞いている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	契約時にアレルギーの情報を聞いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	安全計画に基づいて事業所の点検等を行い安全に活動ができる環境を作り支援できている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0	出来ていない。	契約時、計画の説明時に説明するように改善する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	ヒヤリハットの情報を職員で共有して再発防止を考えることを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修を行い虐待についての理解と支援の振り返りを行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	必要な児童については計画書に記載して同意を得ている。	